



## 月桂冠における物流効率化、環境負荷低減への取組紹介

2023/2/16  
月桂冠株式会社  
福井徹也



- ▶ 月桂冠の紹介
- ▶ 流通プロセスから見た物流業界の課題
- ▶ 効率化・環境負荷軽減への取組
  - ✓ ホワイト物流推進運動
  - ✓ 取組以前の輸配送スキームの問題点
  - ✓ 在庫拠点設置とモーダルシフト
  - ✓ モーダルシフトの事例紹介
  - ✓ 共同物流（荷主間）の事例紹介
  - ✓ CO<sub>2</sub>排出量の推移
  - ✓ 拠点化と構内荷役の変化
  - ✓ 荷役における課題
  - ✓ 対売上高物流費
  - ✓ 受発注効率化の取組

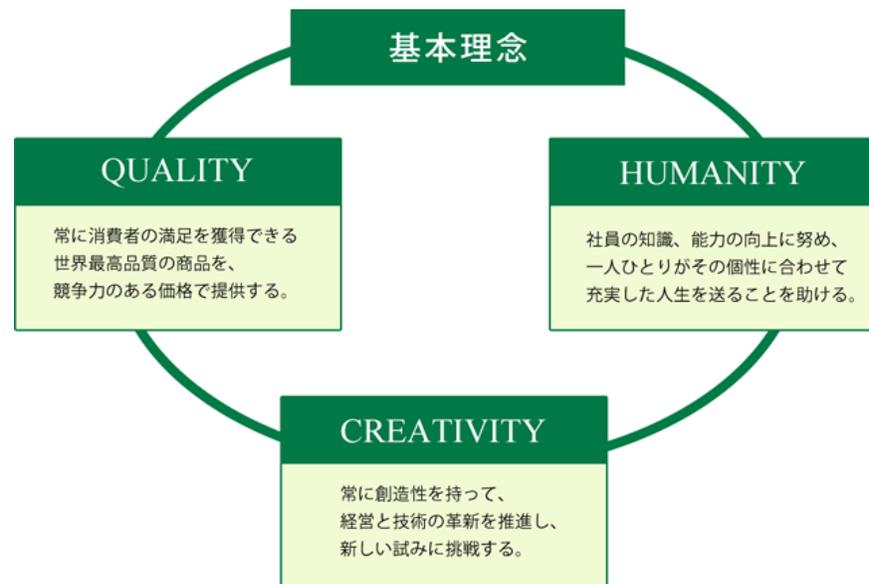


月桂冠内蔵の風景

月桂冠株式会社は、京都伏見の地で1637年に創業した老舗企業です。基本理念である「Quality・Creativity・Humanity」のもと、「健をめざし、酒（しゅ）を科学して、快を創る」というコーポレートブランドコンセプトに基づき事業活動を展開しています。

当社の核である清酒事業の深耕をはじめ、清酒以外のアルコール事業、アルコール以外の事業、海外事業など、新たな領域についても事業化を進めるべく全社をあげて取り組んでいます。

これらの取り組みを通じて、お客様に満足いただける商品・サービスを創造し、提供し続ける企業でありたいと考えています。



月桂冠株式会社  
代表取締役社長  
大倉 治彦

## 【組織体制】



## 【物流部の業務領域】

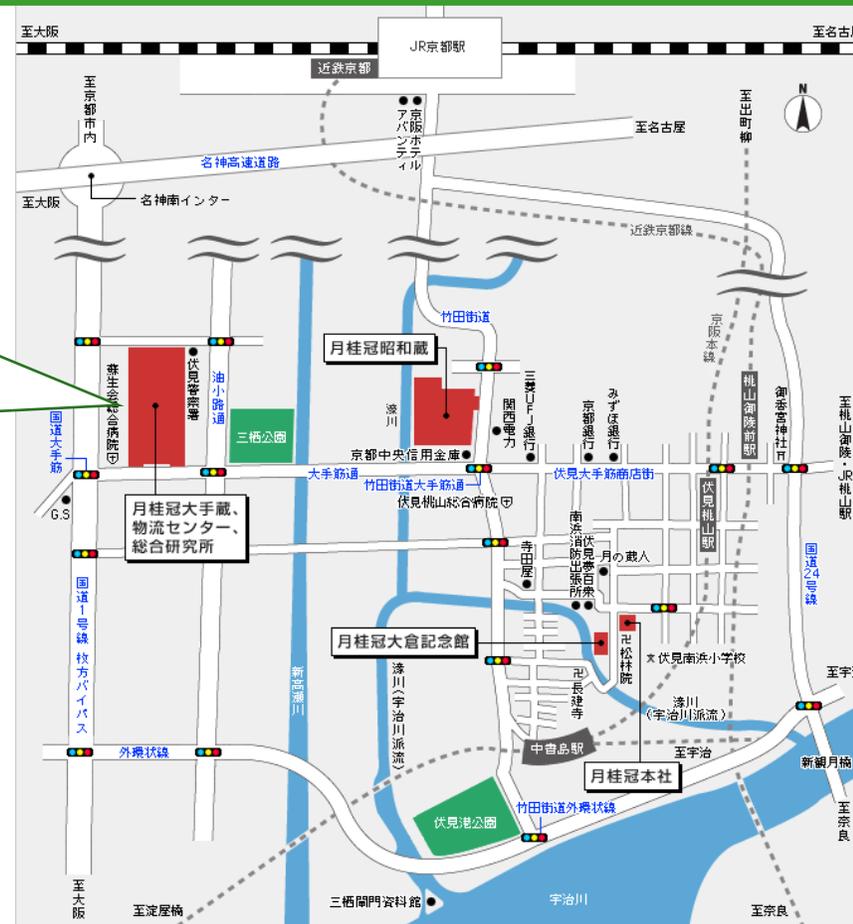
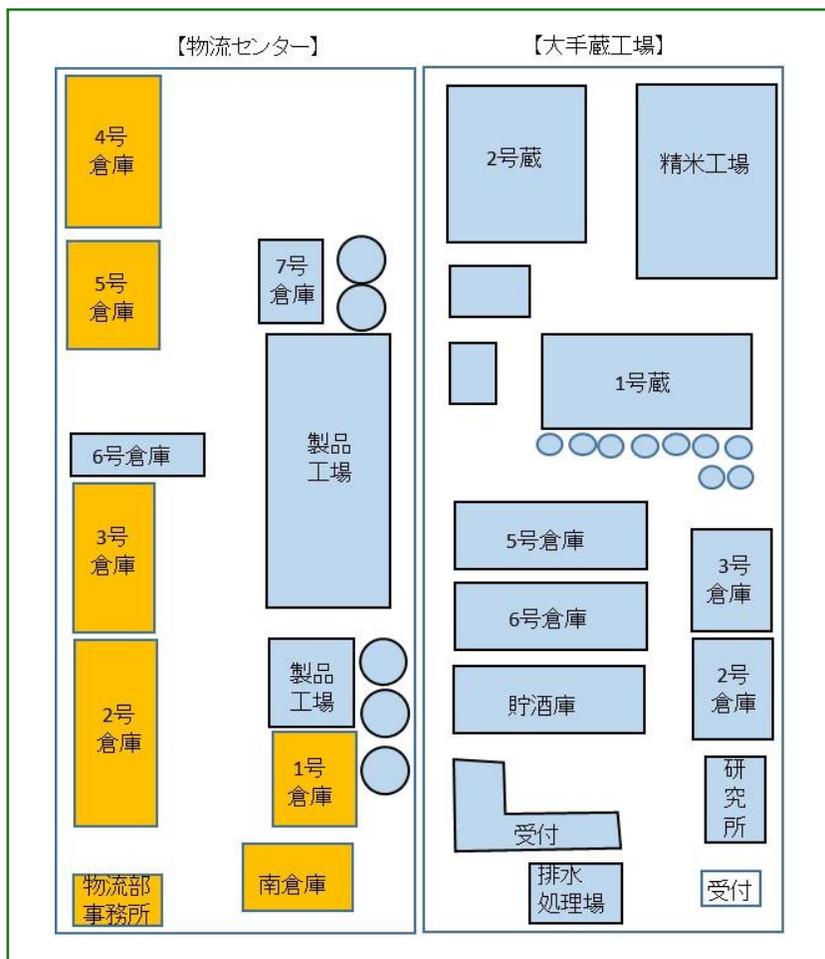
物流センターの運営	・ 構内荷役、運搬、保管、梱包、流通加工
受注センターの運営	・ 全国のEDI受注、FAXの受注
生産計画	・ 商品の生産計画（月次～週次）
倉庫計画	・ 物流C及び全国DC拠点の倉庫計画・管理
輸配送計画	・ 全国の輸配送計画・管理
物流情報管理	・ KPI管理、システムの運用管理
利用運送事業	・ 共同物流の企画運営

## 【2022年度物流部方針】

1. **商品の安定供給**
2. **在庫コスト抑制**
3. **誤出荷率、ハンドリング事故率削減**
4. **幹線輸送コスト、DC倉庫料削減**
5. **受注品質の維持**
6. **受注コスト削減**
7. **包装業務フローの改善とマニュアル化**
8. **利用運送事業の利益拡大**
9. **働きやすい職場環境の推進**
10. **人材育成**

# 物流センター概要

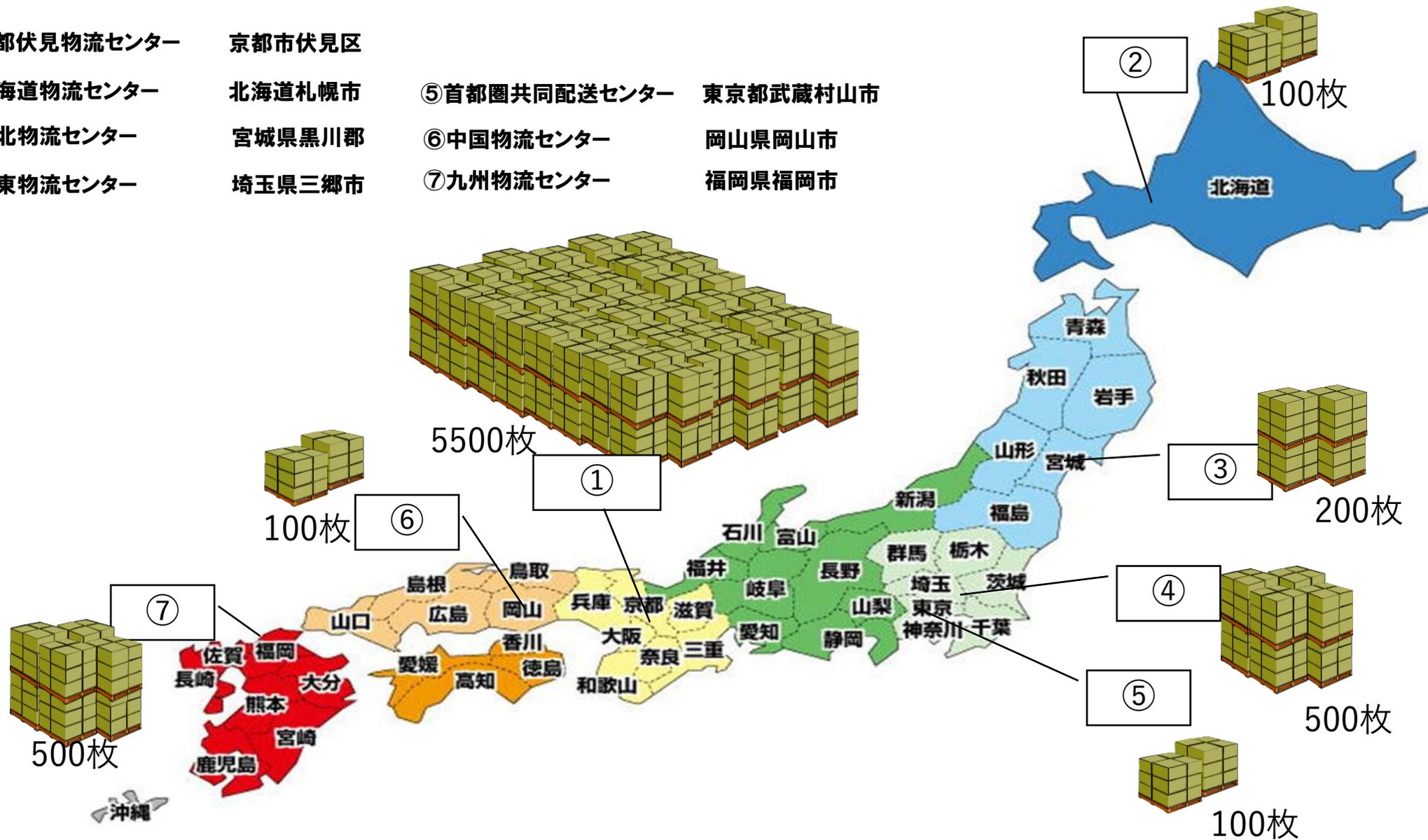
- ▶ 住所：京都市伏見区下鳥羽小柳町101番地
- ▶ 敷地面積：29,824㎡（物流センターのみ）
- ▶ 保管能力：7,890㎡（9型パレット 5,500枚と少し手狭）
- ▶ 出荷量：年間7,500台（10ト車）



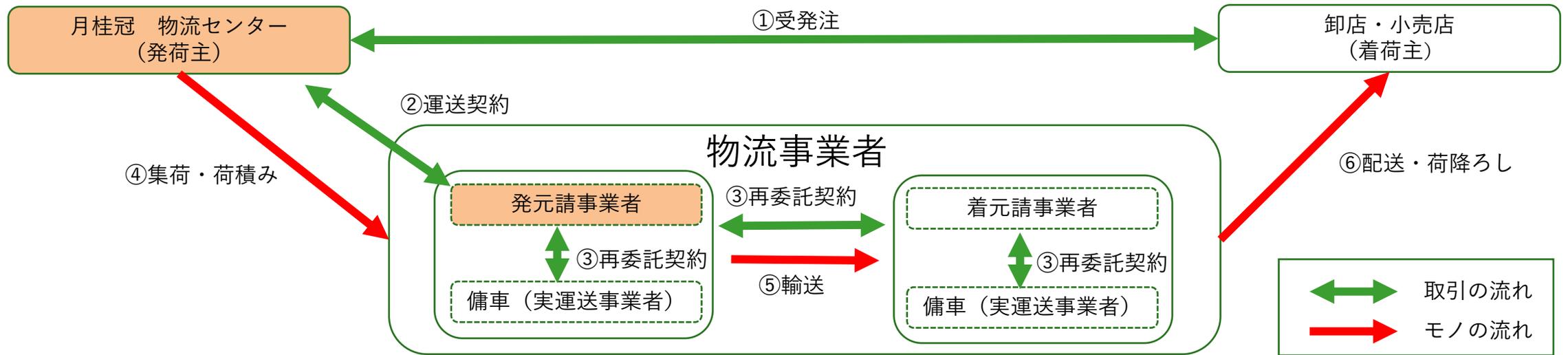
# 在庫拠点 & 在庫スケール

- ① 京都伏見物流センター 京都市伏見区
- ② 北海道物流センター 北海道札幌市
- ③ 東北物流センター 宮城県黒川郡
- ④ 関東物流センター 埼玉県三郷市

- ⑤ 首都圏共同配送センター 東京都武蔵村山市
- ⑥ 中国物流センター 岡山県岡山市
- ⑦ 九州物流センター 福岡県福岡市



# 流通プロセスから見た物流業界の課題



プロセス	顕在化している課題
①受発注	<ul style="list-style-type: none"> <li>●タイトな納品リードタイム</li> <li>●過度な納品時間指定</li> <li>●季節・曜日による需要偏在</li> </ul>
②運送契約	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取引適正化（運賃・料金改定の依頼）</li> </ul>
③再委託契約（下請契約）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取引適正化（運賃・料金改定の依頼）</li> <li>●多重構造</li> </ul>
④集荷・荷積み	<ul style="list-style-type: none"> <li>●待機時間</li> </ul>
⑤輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長距離ドライバー不足</li> <li>●需給変動による積載効率</li> <li>●モーダルシフト</li> <li>●深夜・早朝の荷役作業</li> </ul>
⑥配送・荷降ろし	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取引関係のない着荷主の指示</li> <li>●契約のない附帯作業</li> <li>●長時間の荷降ろし待ち、又は、再配送</li> </ul>

# ホワイト物流推進運動

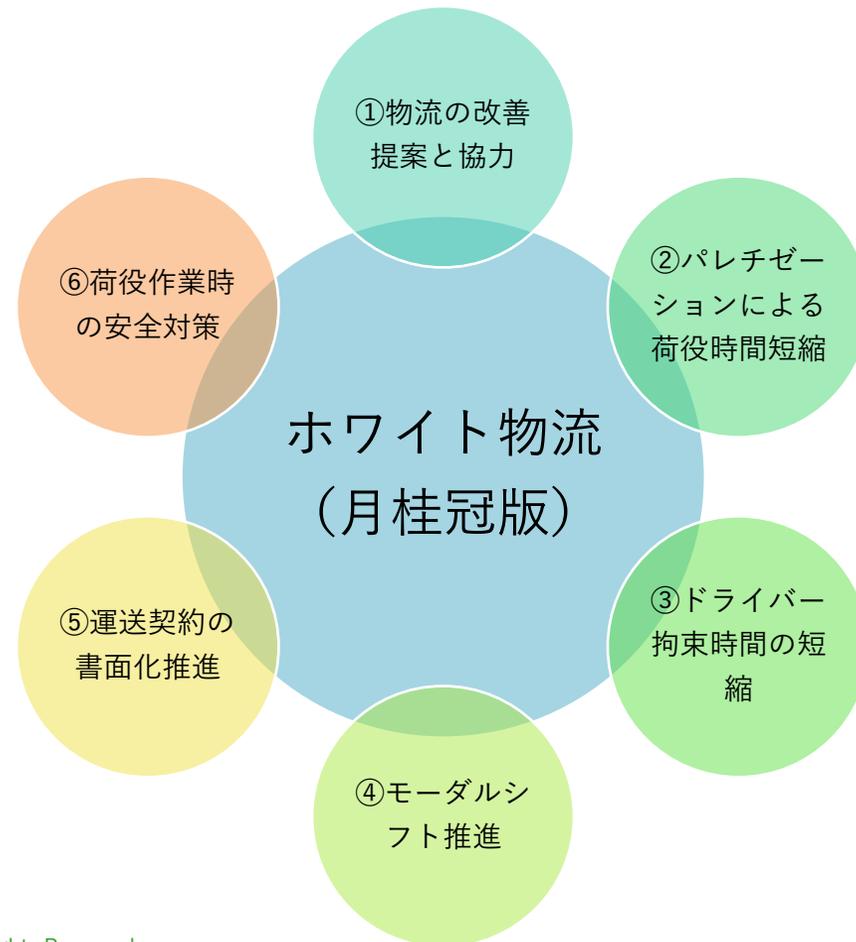
- ▶ 国土交通省が推進している「ホワイト物流推進運動」に、当社も2019年9月から参加しております
- ▶ 右図の6項目について、取り組みを宣言し進めております

## 「ホワイト物流」推進運動の目的

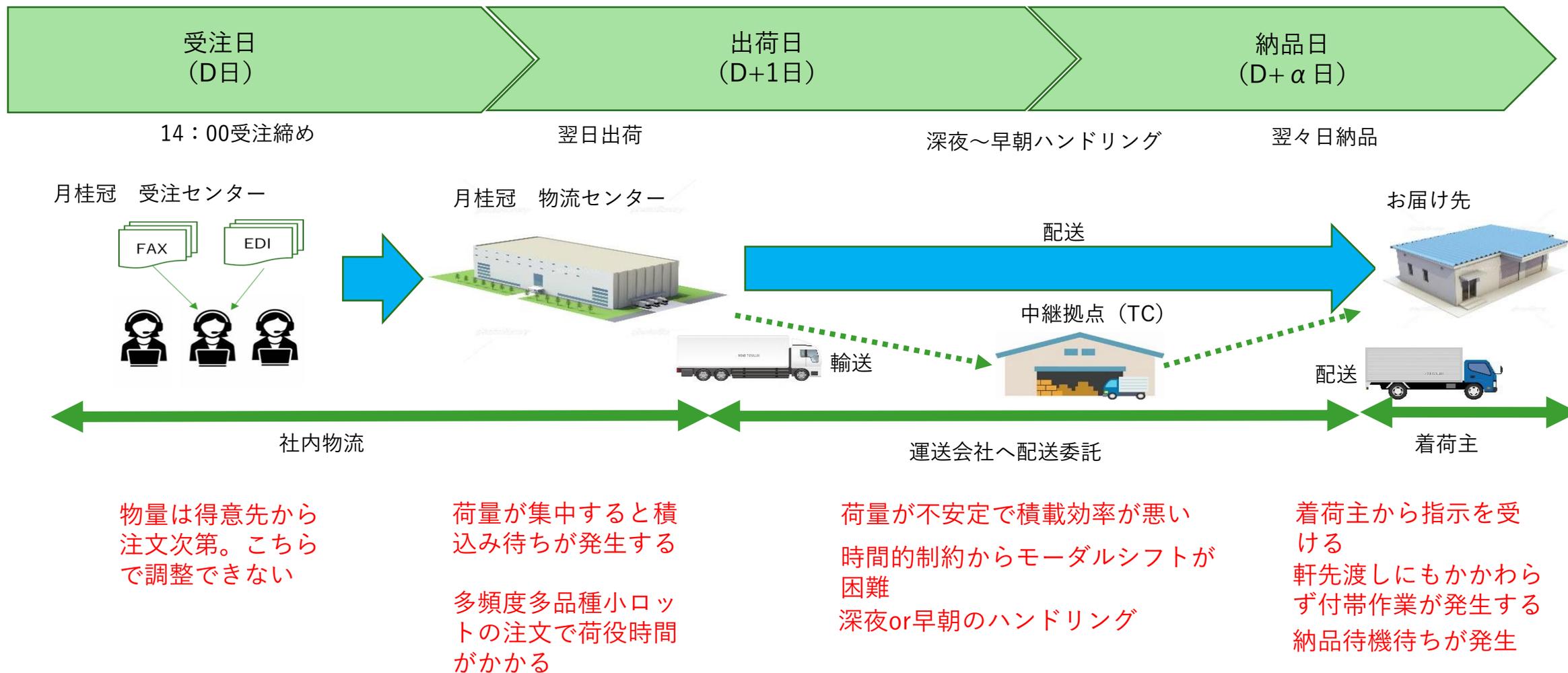
- ① トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化
- ② 女性や60代の運転者等も働きやすいより「ホワイト」な労働環境の実現

令和4年11月30日現在  
**全国1504社**

<https://white-logistics-movement.jp/list/>

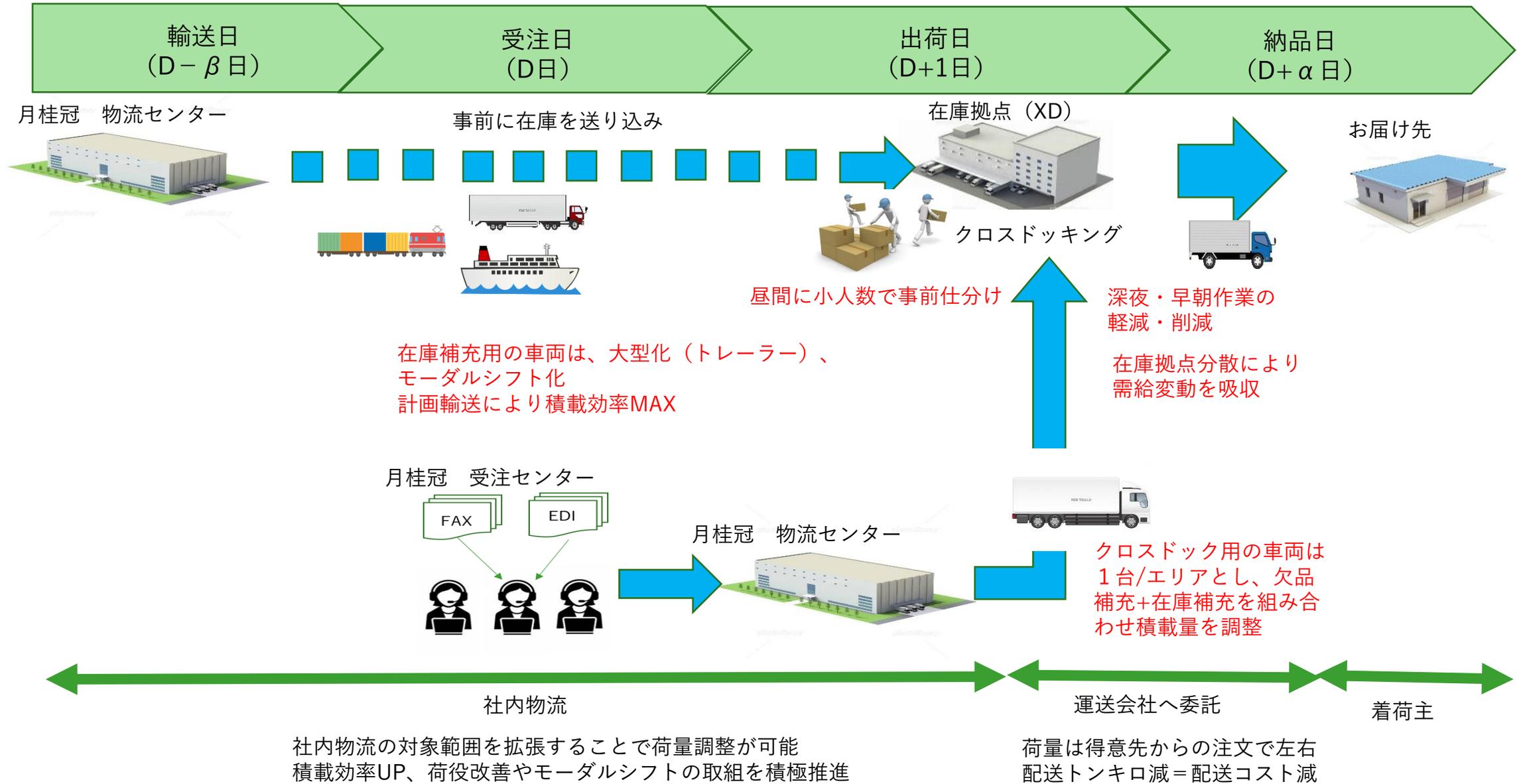


# 取組み以前の輸配送スキームの問題点



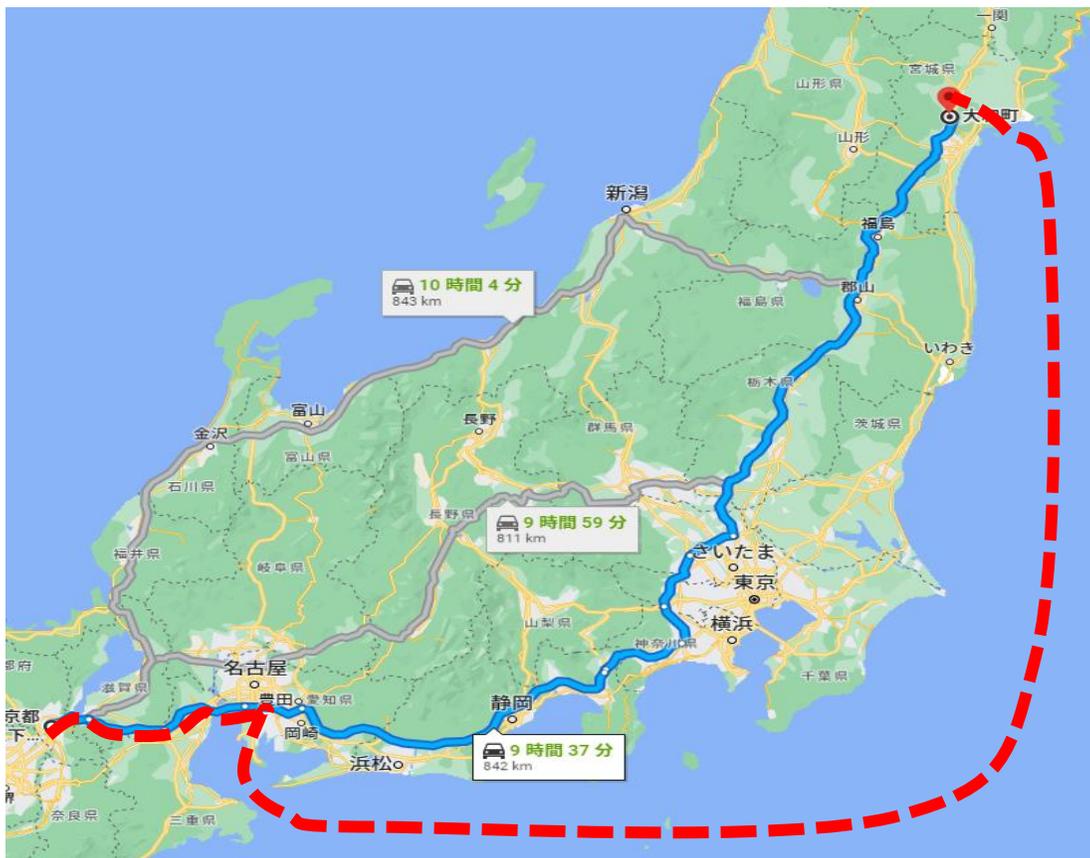
物流事業者にとって「High Risk Low Return」な状態

# 在庫拠点設置とモーダルシフト



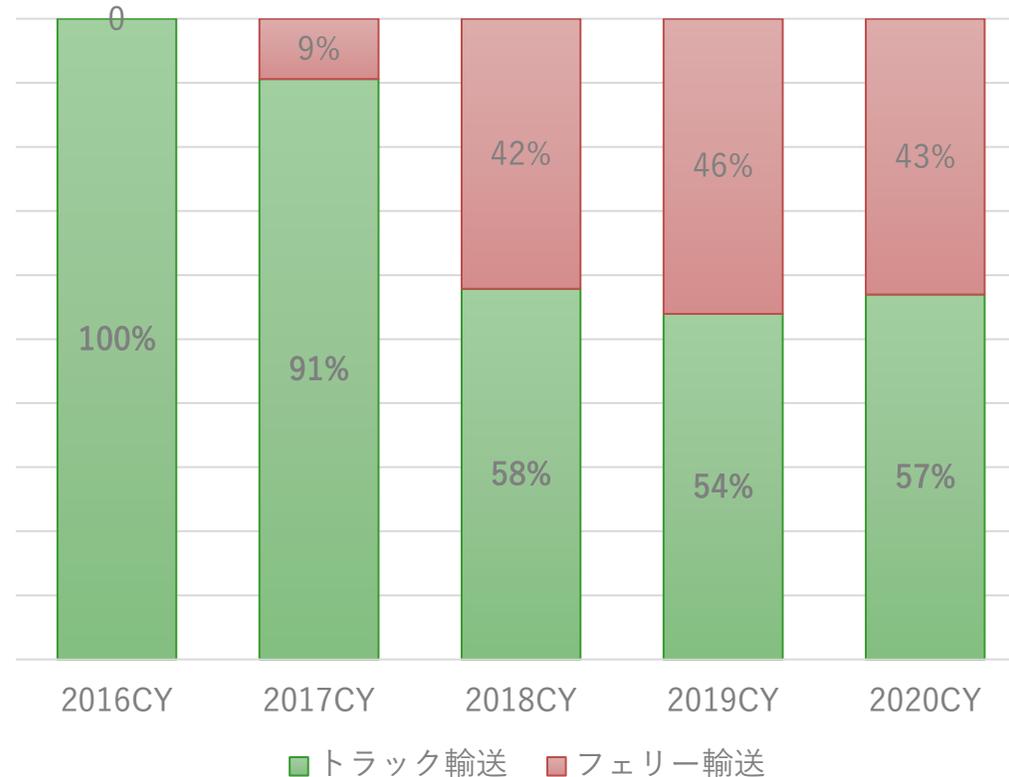
# モーダルシフトの事例紹介

- ▶ 「京都伏見物流センター」 ⇒ 「月桂冠 東北DC」 (宮城県黒川郡大和町：842km)
- ▶ 「京都伏見物流センター」 ⇒ 「名古屋港」 ⇒ 「仙台港」 ⇒ 「東北DC」 にモーダルシフトし、東北6県の4割超をフェリー輸送にスイッチ
- ▶ この試みは、本州における海運モーダルシフトにおいて高く評価され、2019年度初代「海運モーダルシフト大賞」を受賞し、国土交通省海事局長表彰を授かりました



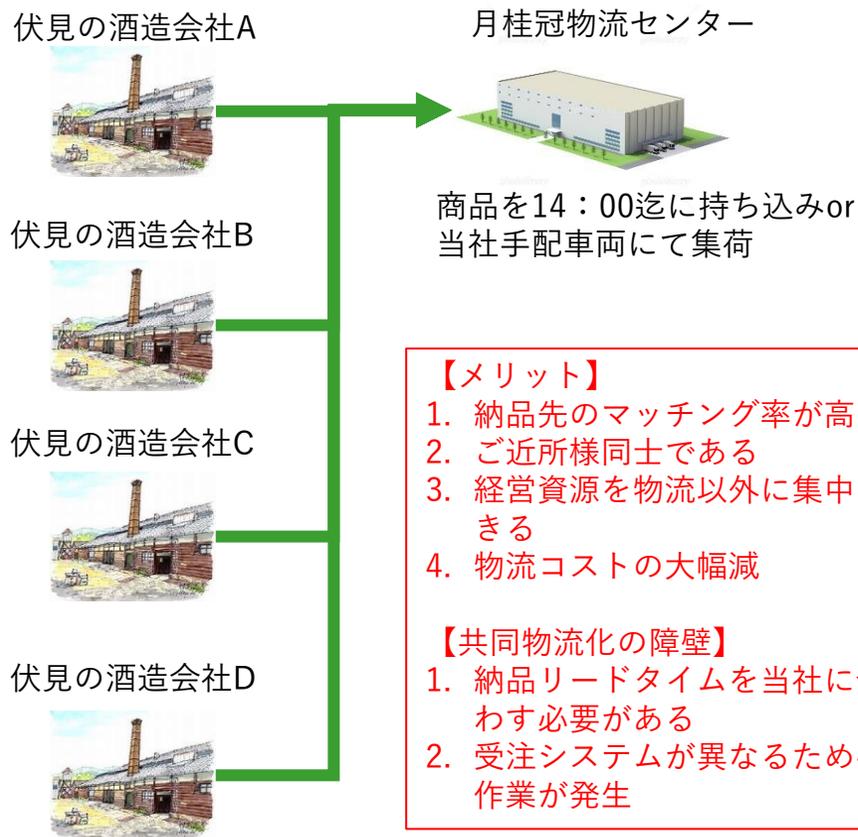
Google Mapsより抜粋

東北方面へのモーダルシフト



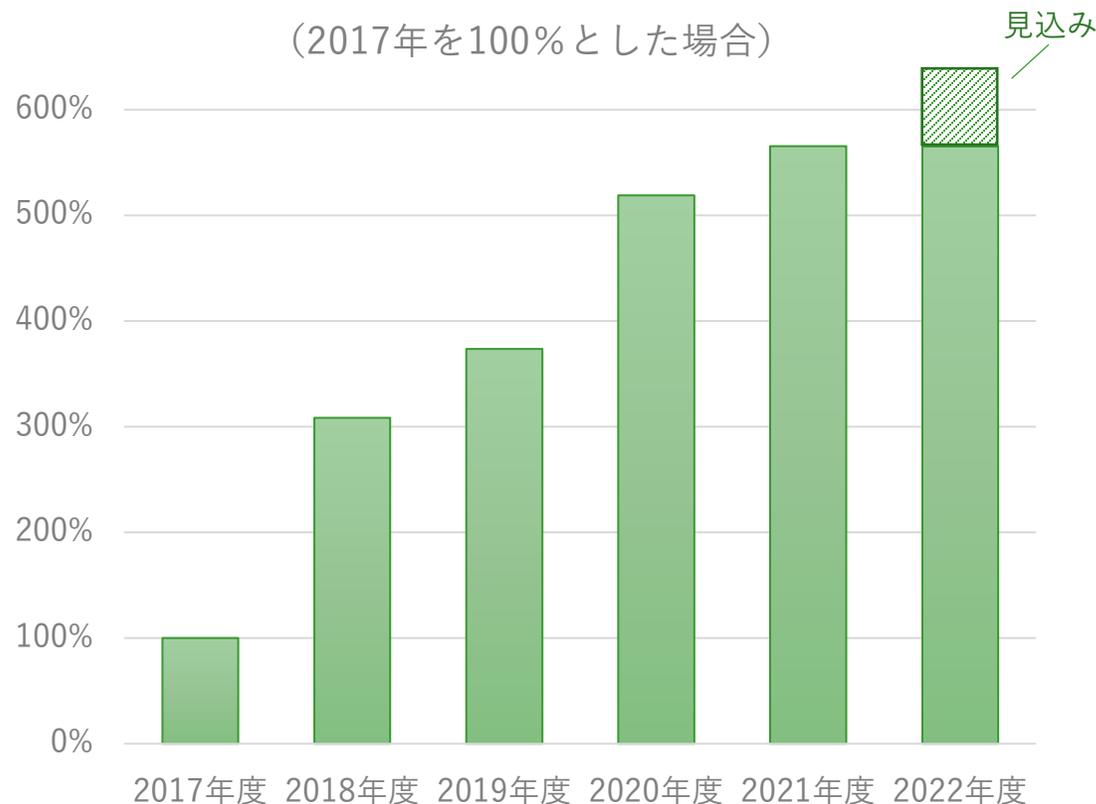
# 共同物流（荷主間）の事例紹介

- ▶ ラストワンマイルの共同配送は、2000年初頭から取り組みを進めております
- ▶ 共同物流をさらに進展させるべく、2017年に第一種利用運送事業の認可を取得。2022年には第二種の海運利用も行える体制を整えました
- ▶ 共同物流化の障壁を、牛歩ながら取り除く作業を日々進めています



- 【メリット】**
1. 納品先のマッチング率が高い
  2. ご近所様同士である
  3. 経営資源を物流以外に集中できる
  4. 物流コストの大幅減
- 【共同物流化の障壁】**
1. 納品リードタイムを当社に合わせ必要がある
  2. 受注システムが異なるため手作業が発生

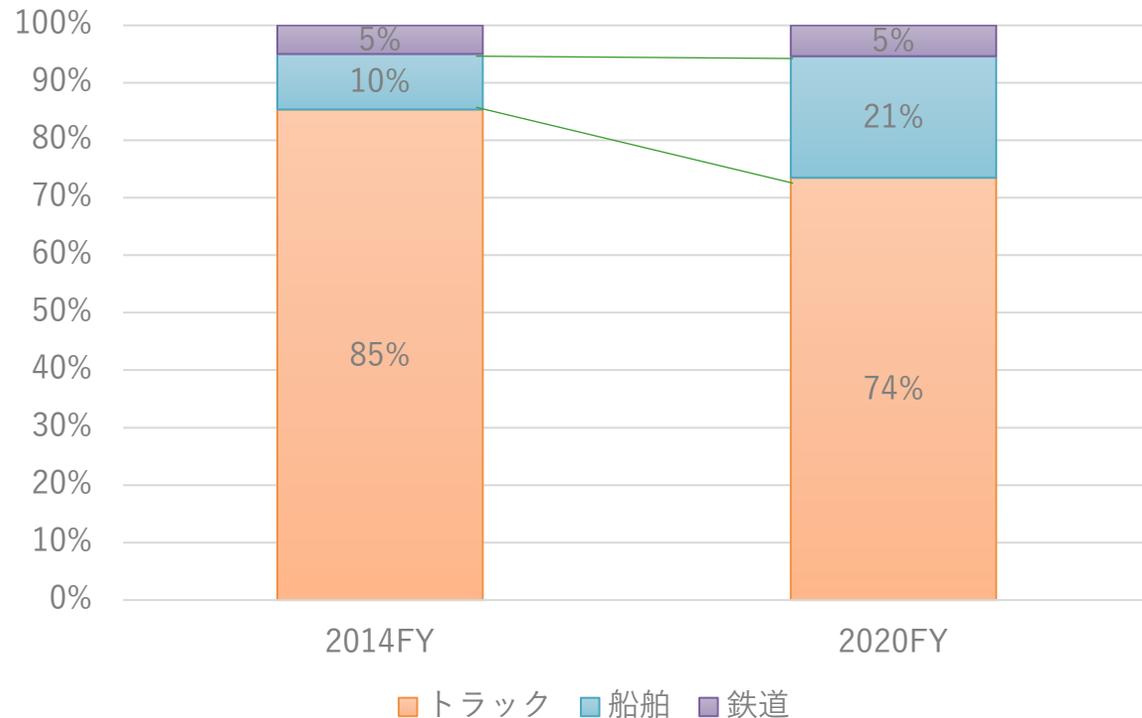
共同物流の物量推移  
(2017年を100%とした場合)



- ▶ 改正省エネ法に基づき経済産業省に提出している報告書をグラフ化してみました。輸送トンキロは”横ばい”であるのに対し、海運モーダルシフトが進んだことでCO<sub>2</sub>排出量が20%減少したことが伺えます。
- ▶ 尚、2020FYのCO<sub>2</sub>排出量の減少は、コロナ禍による売上低迷の要因が強い

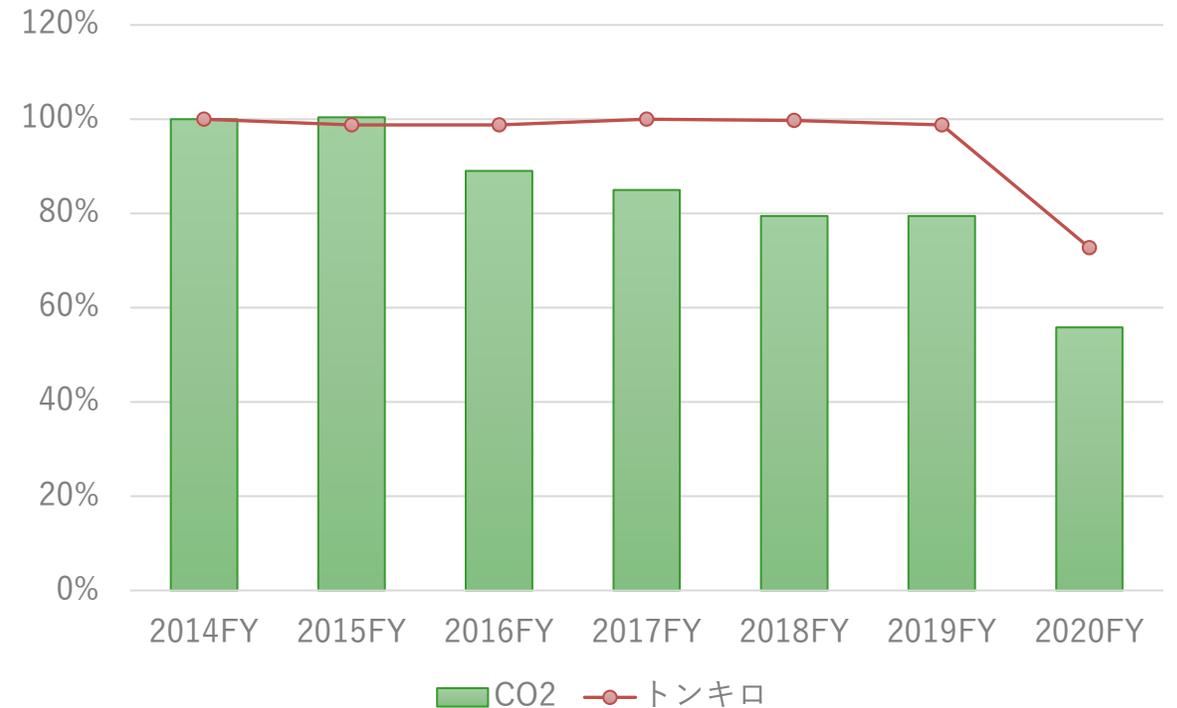
### 運送手段別構成比

—トンキロベース—



### 輸送トンキロとCO<sub>2</sub>排出量

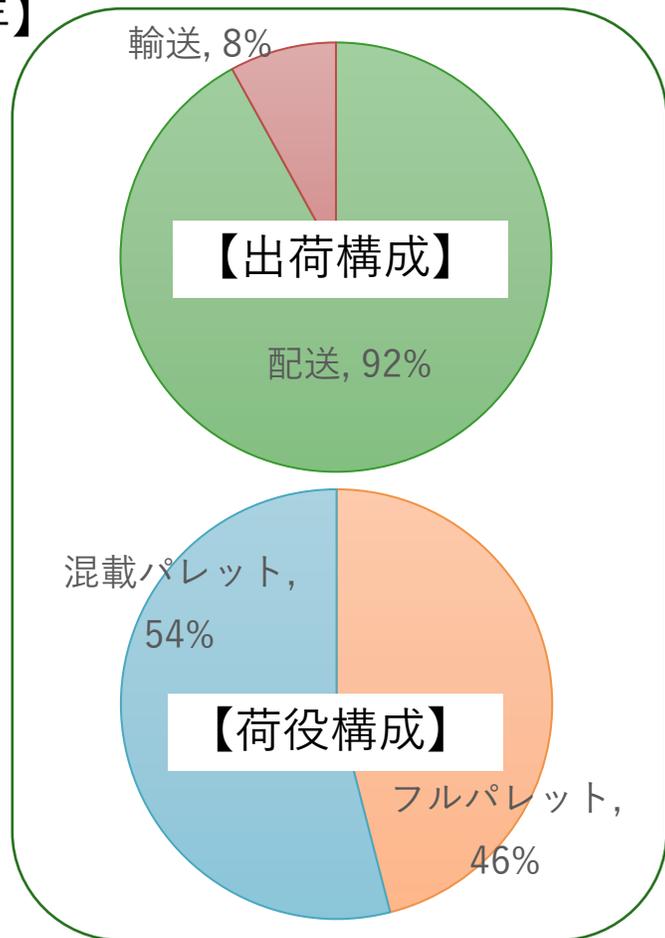
(2014年を100%とした場合)



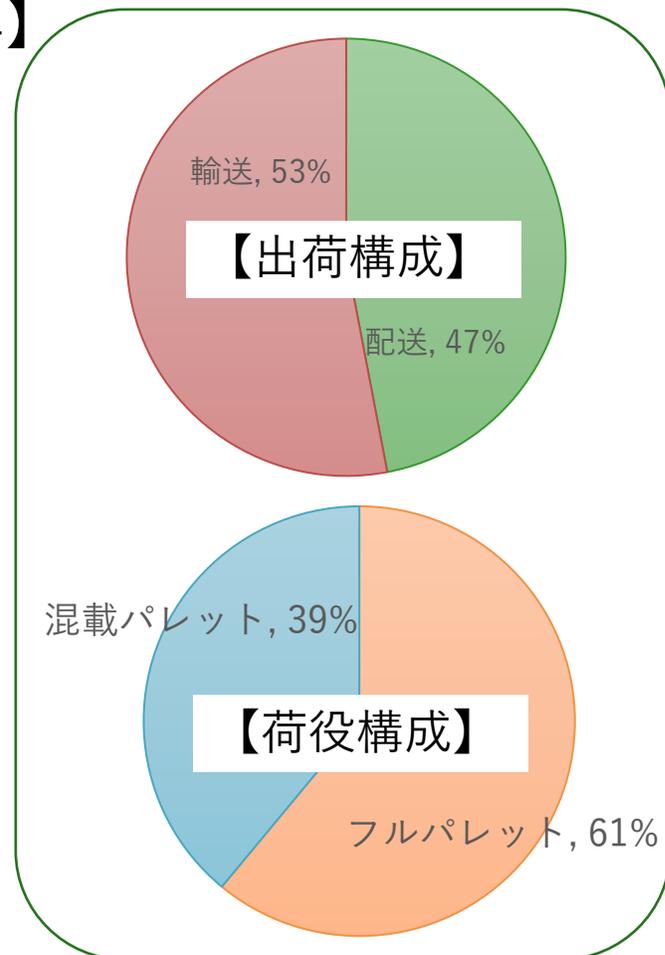
# 拠点化と構内荷役

- ▶ 在庫拠点を増やしたことで、得意先向けの配送比率が高かった京都物流センターの出荷構成が大きく変化。
- ▶ ピッキング・積込みに時間がかかる混載パレット比率が下がり、荷役効率は上昇。時間にして15分～20分/車のピッキング・積込み所要時間が短縮しました

【2015年】



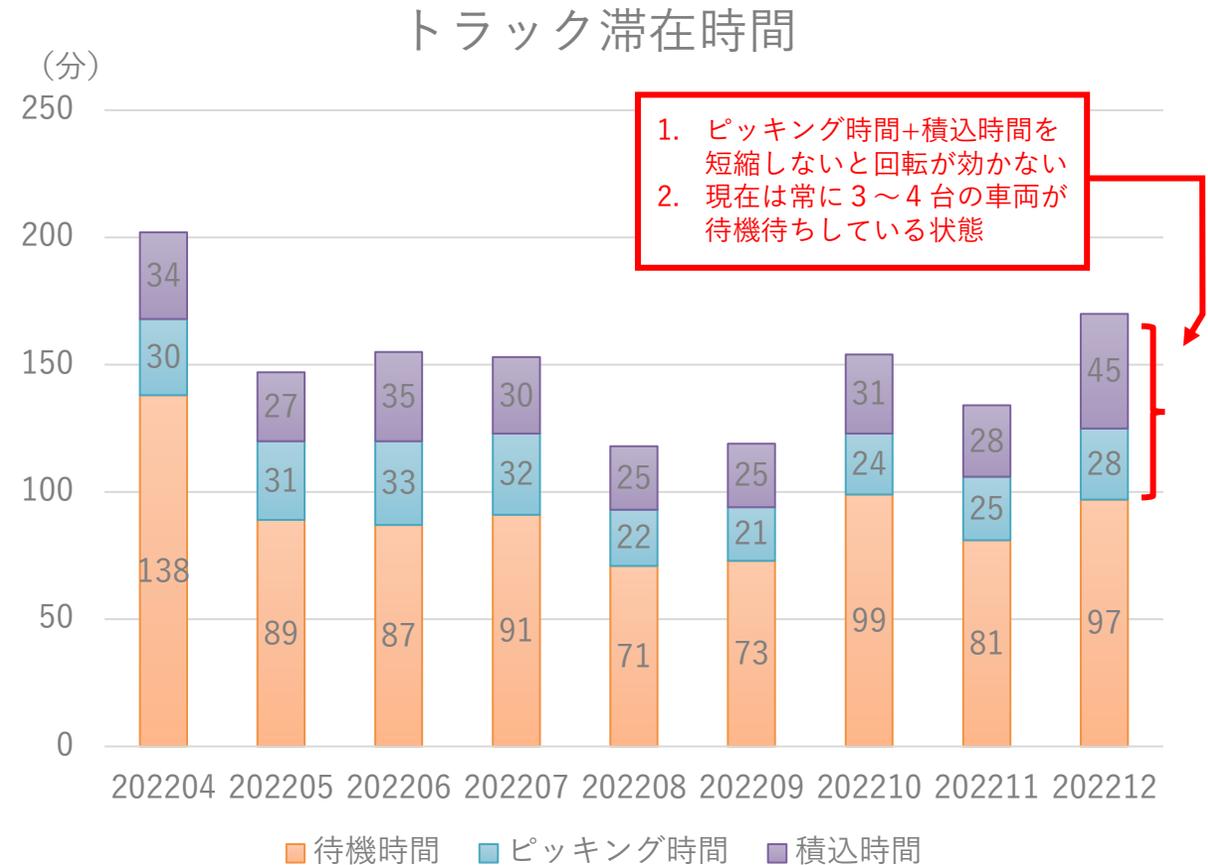
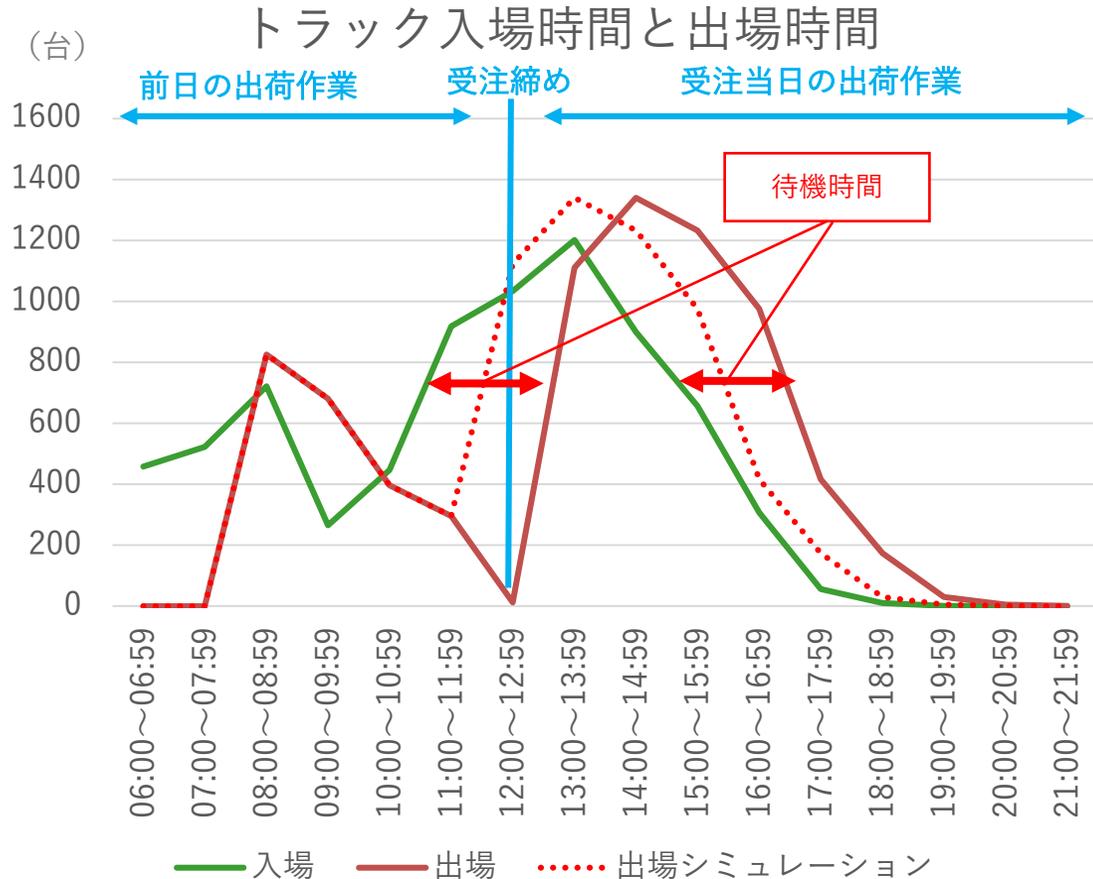
【2021年】



# 荷役における今後の課題

トラック待機時間の改善のために、下記のテーマに取り組んでいます

- ① トラック予約システム（2022年4月導入済）の位置情報から事前ピッキングを開始し待機時間を短縮
- ② 積込バースの増床（荷役者、スペースを増やす）
- ③ 検品工程の簡略化
- ③ 受注締め時間を1時間前倒しし、入庫と出庫の同期化を図る

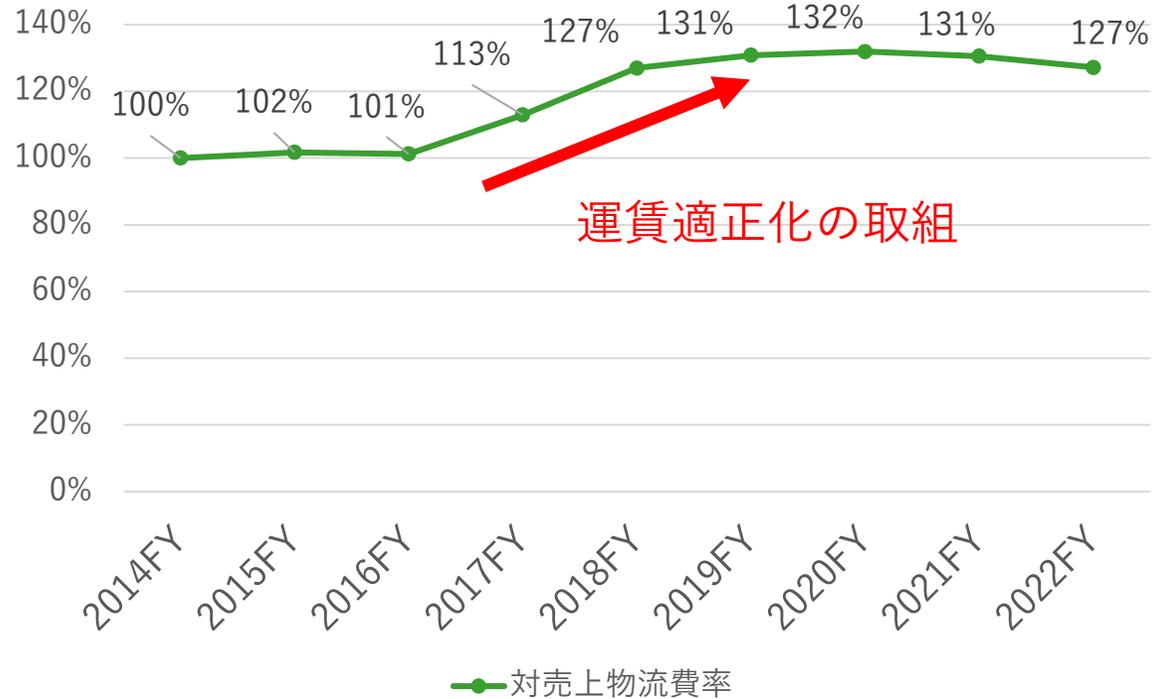


# 対売上物流費率の推移

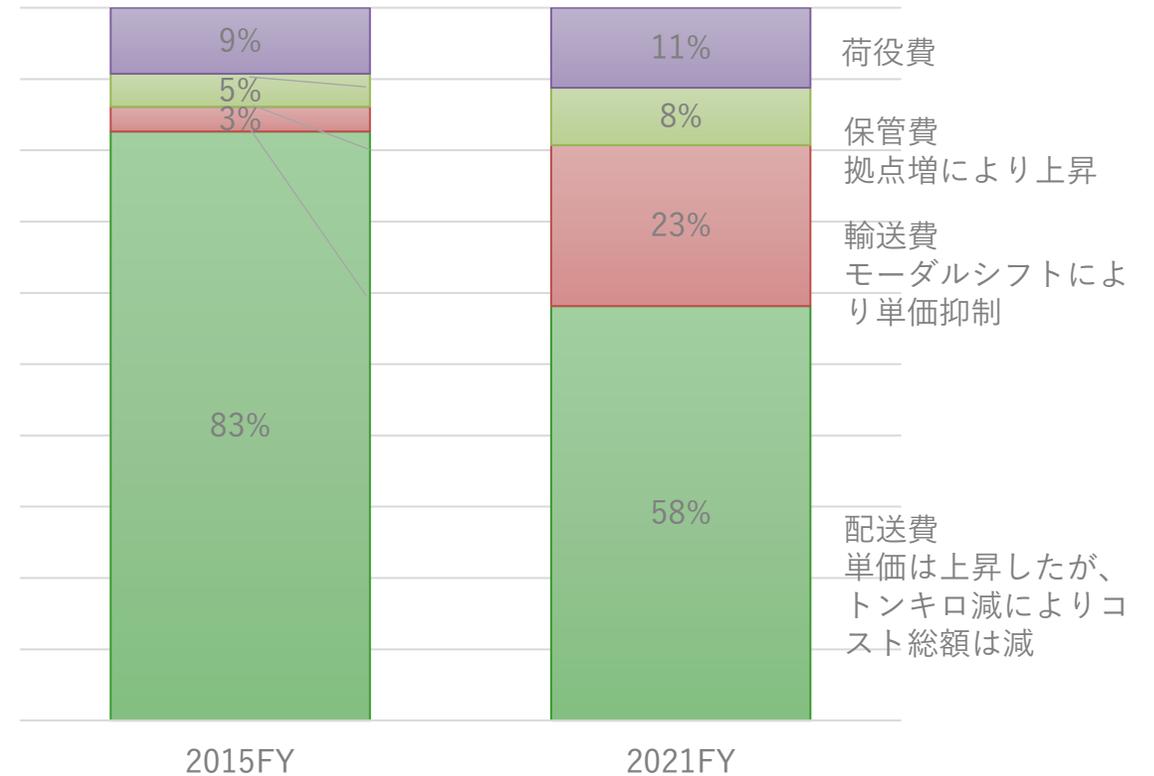
- ▶ 2016年から2018年にかけて運賃適正化の取組みを実施。
- ▶ 運賃単価改定により対売上物流費率が3割程度上昇しました。
- ▶ 但し、運賃単価上昇分を差し引くと従来の支払物流費と同水準で推移しており、運賃改定を機にコスト構造の転換を図ったと位置づけております

### 対売上物流費率

(2014年を100%とした場合)



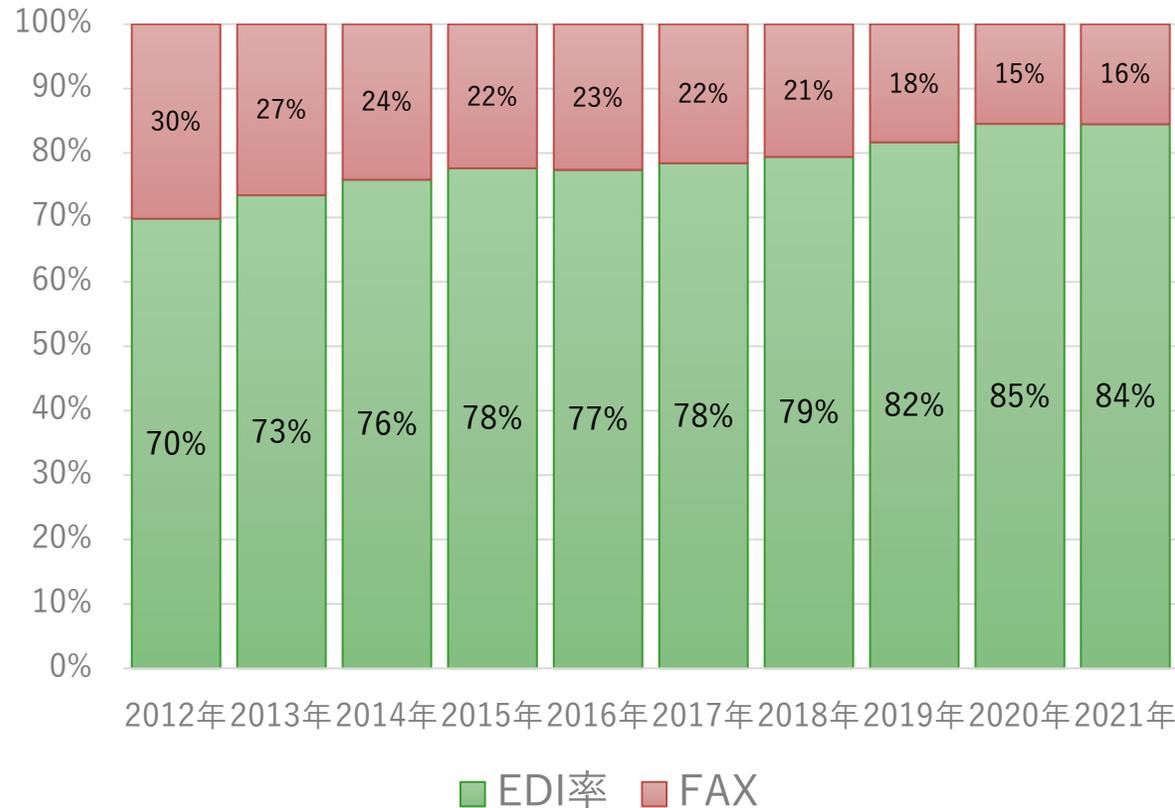
### 物流費内訳の推移



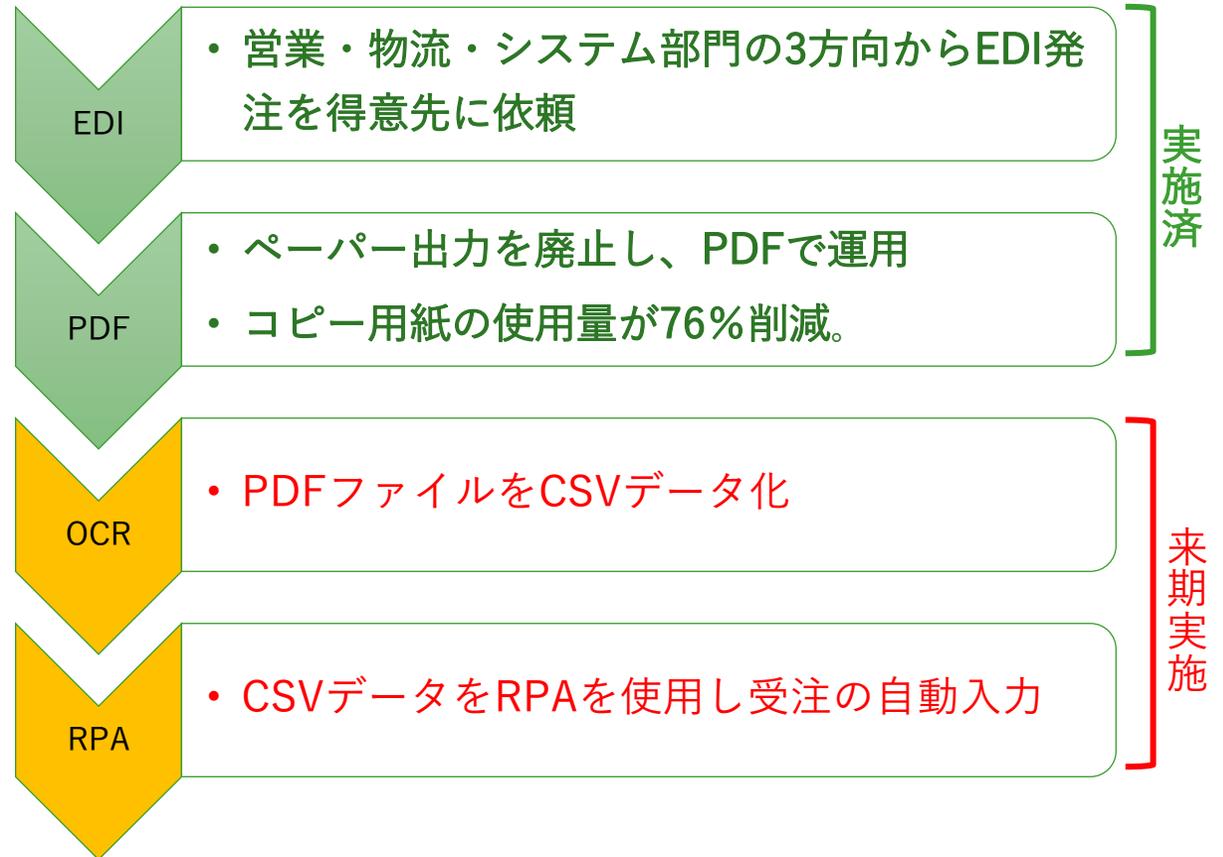
# 受発注効率化の取組

- ▶ 受発注ミスは、TELやFAXの注文時に発生するヒューマンエラー
- ▶ 「持ち戻り」、「再配達」、「検品時間」など物流事業者に負荷が発生。さらに「売上訂正」といった事務処理も発生

【受注比率の推移】



【FAX受注を減らす取り組み】



ご清聴ありがとうございました。月桂冠は今後も皆様のご要望にかなう企業となるよう努力を続けていく所存です。セミナーに参加された皆様とサポート頂いた事務局の方々のご健勝とご多幸を祈念して終了させていただきます。尚、京都にお越しになる際は“日本酒で乾杯”を実践頂きますよう 宜しくお願ひ申し上げます。

(2013年1月15日施行 京都市清酒の普及の促進に関する条例より)

